

社会実践のためのブレンディッド・ラーニングの構築 —「地の塩」プロジェクト 同志社大学神学部

神学部の伝統

山室軍平
止揚学園
釜ヶ崎支援

停滞？

現状

良心を手腕
に運用
社会に貢献

新島の
キリスト教主義

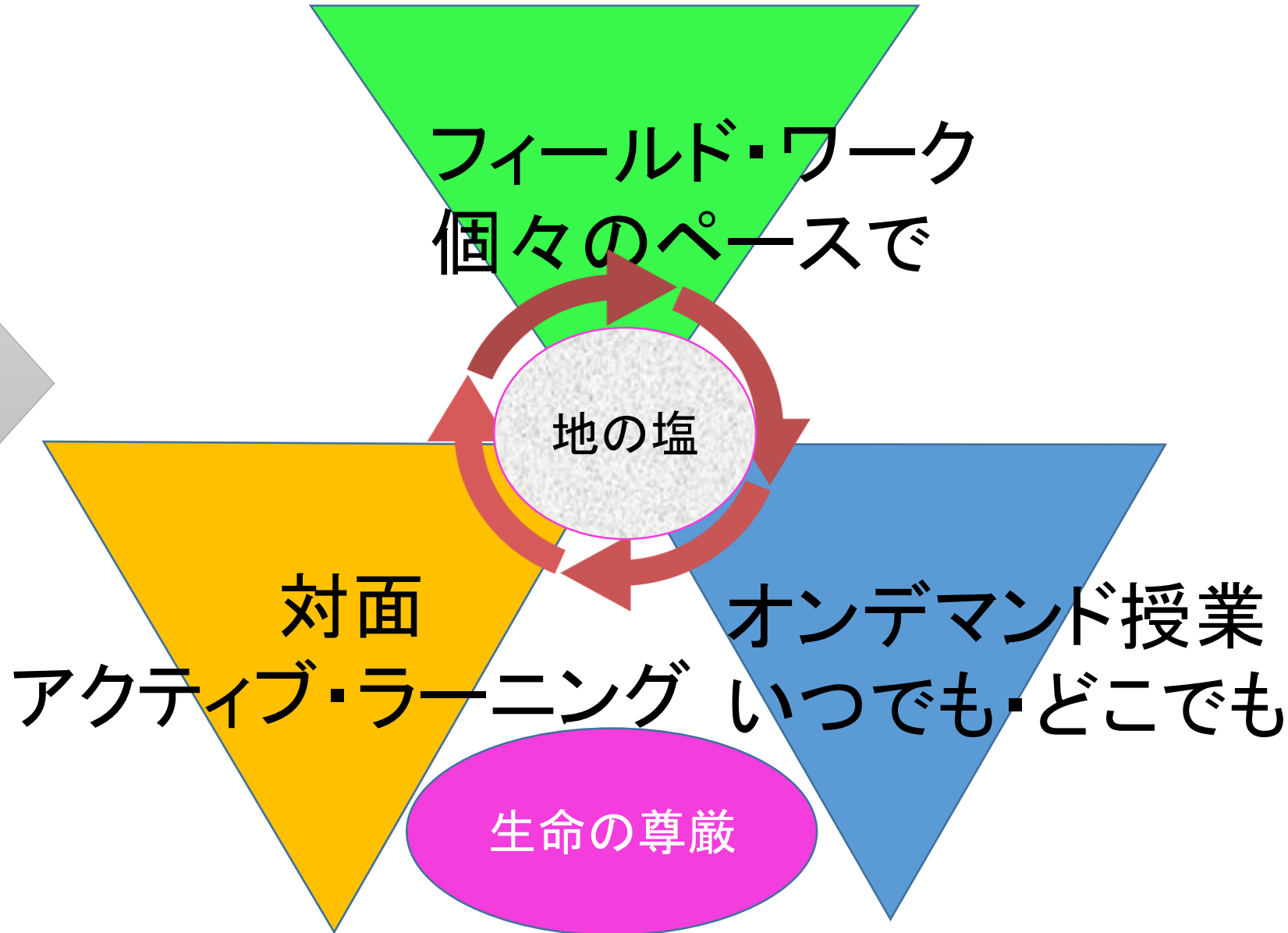
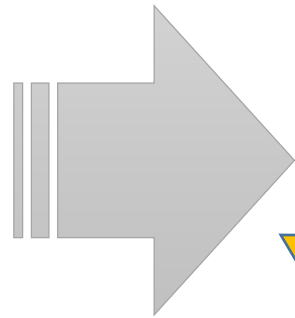
大学の授業構造
の問題

15回・教室への拘束

ブレンドィッド・ラーニングの構築

「宗教と社会福祉」

工場型
一斉・一方通行授業
15回教室



止揚学園

滋賀県東近江市
JR能登川駅

重度知的障がい支
援施設:

入所者35人

職員37人

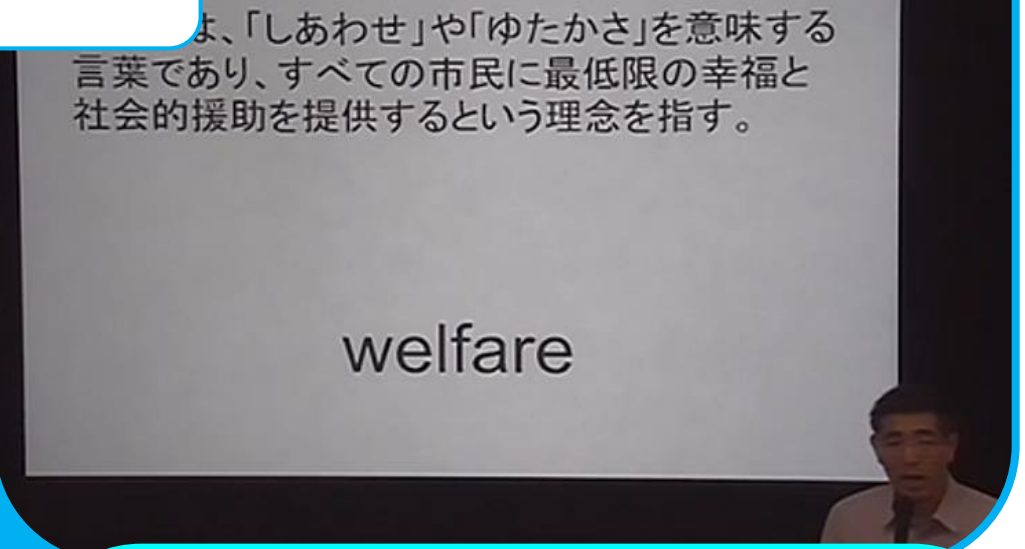
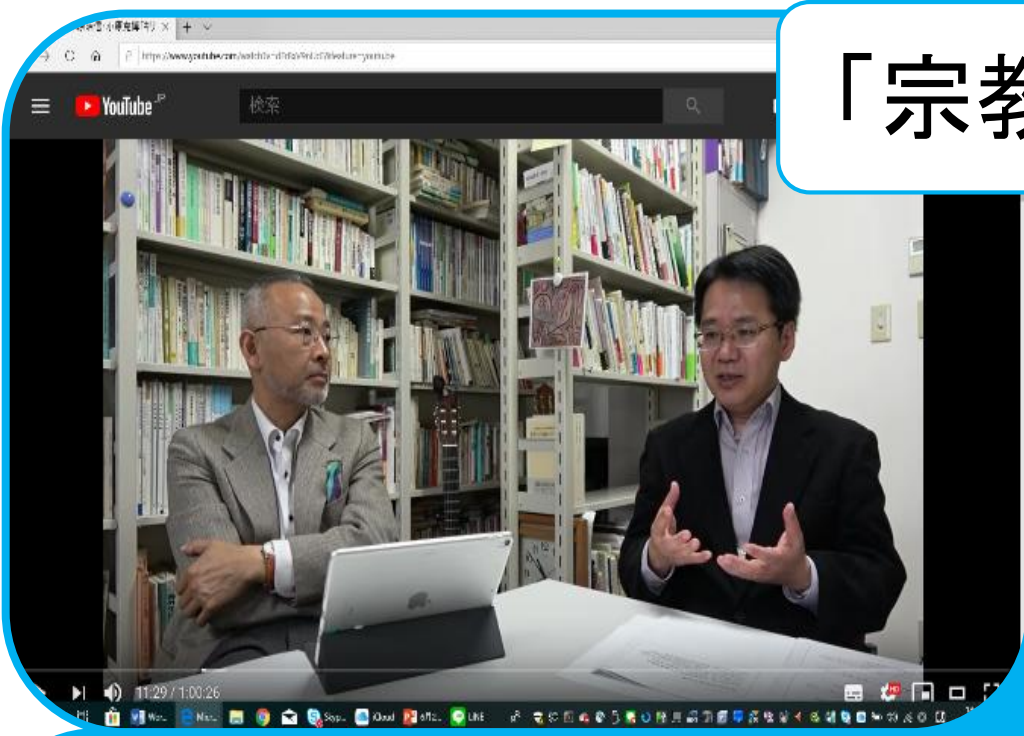
神学部卒業生・福
井達雨氏が重度知
的障がい児との共
生を目指し、1962
年に開設。

現園長:福井生氏

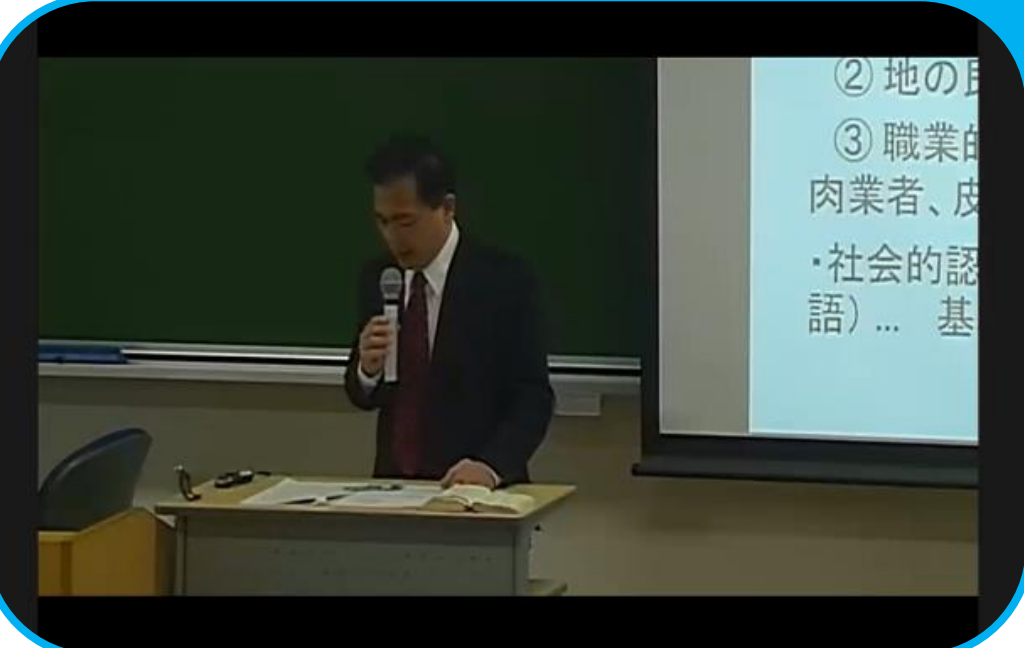


止揚学園HPより転載

「宗教と社会福祉」



オンデマンド授業
いつでも
どこでも





イールト





対面授業
アクティブ・
ラーニング



社会への発信 Facebook

Facebook 開設



- <https://www.facebook.com/宗教と社会福祉―地の塩プロジェクトー-412953276201637/>

学生のフィールド・ワークレポートより

止揚学園の大掃除は一般的な大掃除とは意味が異なる。何故ならば、学園自体に多くの方々の人生が詰まっており、施設も家族の一員とみなしているからだ。職員の方が大掃除の説明をしてくださった際「畳や廊下、壁一つ一つに命があると私達は考えています。ある入所者の方は壁に傷がついたときに痛いから気をつけてと言いました。入所者だけでなく私達も施設には愛着を持っています。丁寧な作業をお願いします」と言われた。・・・廊下を往復し、畳を日光の下に置いた。決して楽とは言える作業ではない。だが、畳マットが重ねられ、日焼けをした畳の重みが止揚学園の歴史の重みを体現しているよう感じた。

午後は厨房に入って、別の日に使うジャガイモの皮むきを行った。合計15キロものジャガイモの皮むきをした。「効率よくというのは求めていないので、丁寧にひとつひとつやっていきましょう」という職員の方の言葉が印象的だった。

私は止揚学園に行ってから、考え方が変わったことがあります。私はいつも何か焦りを感じながら生活していました。お金を稼いで贅沢するのが私の人生の目標でした。その夢を実現するために、常にインターネットなどで最新情報をキャッチして、努力し続けなければいけないと思っていました。しかし、人と自然が共生しながら、あたたかくゆったりとした時間が流れる止揚学園に行って、そこにいる皆さんの優しさや笑顔に、いろいろな瞬間において、実際に癒された私は、これが自分の理想の生活であると思いました。価値観が変わりました。

今回のフィールド・ワークに参加して、私はふと「世の病人や、不具者というのは、人の心をやさしくするために、特別にあるんじゃないかねえ」という言葉を思い出しました。これは、三浦綾子さんの「塩狩峠」という小説の一節なのですが・・・今回の体験を通じて、私は本当に自分の心の底から優しい気持ちが出てくるのを実感しました。・・・神様が人を平等に作らず、それぞれに個性と独自性を与えたのは互いに弱さを優しさで分かち合うためだと今回のフィールド・ワークを通じ、考えさせられました。

応接室に入ると福井先生が待っておられました。その福井先生の口から「今日は来てくれてありがとう」という優しい響きのまま「今日の朝早くにね、トオルさんが亡くなったんだ」と告げられました。・・・福井先生は優しくトオルさんについて教えてくれました。トオルさんはとても無口な人だったこと、病気になって食事が思うようにとれなくなり、点滴で生活していたこと、そんな状態にありながら入院せず止揚学園で生活することを決意したこと・・・色々なトオルさんのエピソードを教えてくださいました。「だから今日、本当はフィールドワークのお断りの電話を入れようとしたのだけれど、トオルさんが何かを伝えたがっているのかもしれないし、神様のお導きだと思うから来てもらった」と福井先生はおっしゃいました。その時、やっと初めて私は「自分にできることを一緒に学園の仲間たちとしよう」と思えたのです。

今日の止揚学園は、トオルさんの前夜式の準備とともに通常業務もあるために大忙しです。みなさんそれでもいつもと変わらぬ笑顔で働いておられてすごいなと感心するばかりでした。そんな中で私に最初に任せて頂いた仕事はトオルさんの告別式でお渡しする止揚学園のタオルの袋詰め作業です。「タオルには歴代の人たちが描いてきた思いが入っているからそれを大事にしながらかつて袋に詰めてね」というスタッフさんの言葉で少し僕も止揚学園の仲間になれるなかと思い、大事に折りました。終わってもみなさん忙しそうにしていたため指示を待たずに、調理場に行って皿拭きと夜ご飯の準備をしました。・・・お客さまとして扱われるのではなく、仲間として自分で考え動き前夜式を迎えた私は、トオルさんによって止揚学園の仲間にしていただけた気がします。ありがとうございました。

オンデマンド授業の拡大を目指して

- Type A: オンデマンド＋フィールド・ワーク＋対面
 - 宗教と社会福祉
 - 日本宗教
 - 建学の精神とキリスト教
- Type B: オンデマンド＋対面
 - 旧約聖書入門